

■ インターバルクリーニングの方法

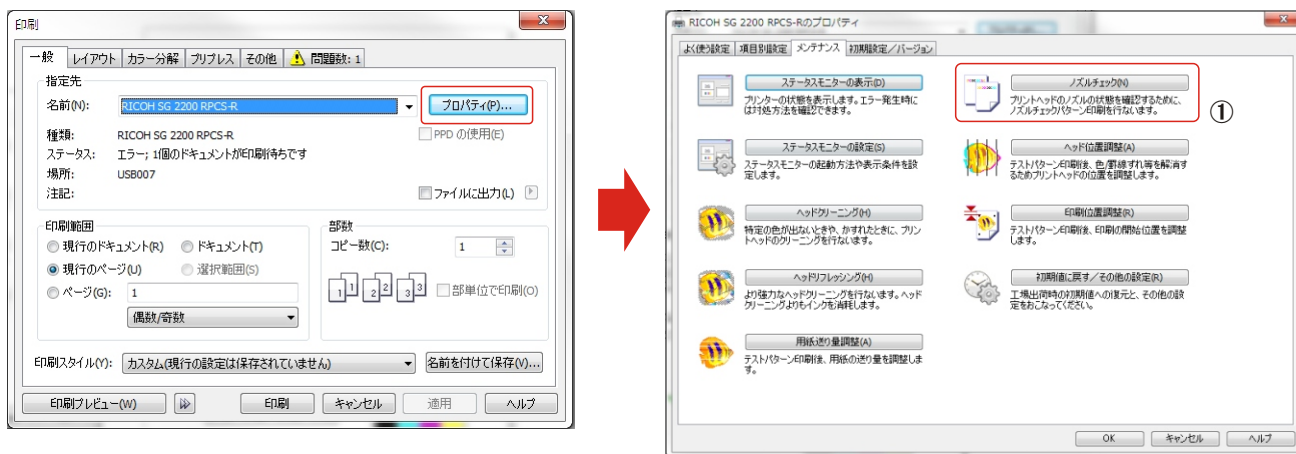
プリンターで目詰まりが発生した場合、通常はプリンタードライバーの「メンテナンス>ヘッドクリーニング」でクリーニングを行ないます。それで解消しない場合は、更にクリーニング力の強い「メンテナンス>ヘッドリフレッシュ」を繰り返し行なったりして解消を試みます。それでもなお解消が出来ない場合は、**インクによる目詰まりが原因ではなく、ヘッド内部やインクの供給チューブ内にエア（空気）混入での目詰まりが原因となっている場合も考えられます。**その場合、クリーニングやリフレッシュだけを連続して行なってもエア除去の解消にはつながらない場合があります。そこで連続でクリーニングやリフレッシュだけの作業をするのではなく、プリントインターバルを入れる「**インターバルクリーニング**」の手法を試みて下さい。

インターバルクリーニングとは（説明）

インクジェットプリンターのヘッドクリーニングは、ドレインチューブ内に負圧を作り強制的にヘッド内のインクを吸引する事でインクを目詰まりを解消させます。吸引する際にインクだけが吸引できれば良いのですが、チューブ内に溜まったエア（空気）も一緒に吸引してしまう場合もあります。それが原因でヘッド内の目に入った空気が目を封孔し目詰まりを発生させている場合もあります。その様な場合は、**繰り返し（連続）クリーニングやリフレッシュを行なっても目詰まりは解消されない場合があります。**その封孔を取り除く一つの方法として「インターバルクリーニング」があります。「インターバルクリーニング」のやり方は、まず「メンテナンス>ヘッドクリーニングもしくはリフレッシュ」を行い、そのまま連続してクリーニングをさせるのではなく「インターバルクリーニングの方法」にあるテストプリントデータ（下図1もしくは巻末）のデータを作製して2～3枚プリント（印刷）させます。この、クリーニングと印刷を交互に行うクリーニング方法、これをインターバルクリーニングと呼んでおります。

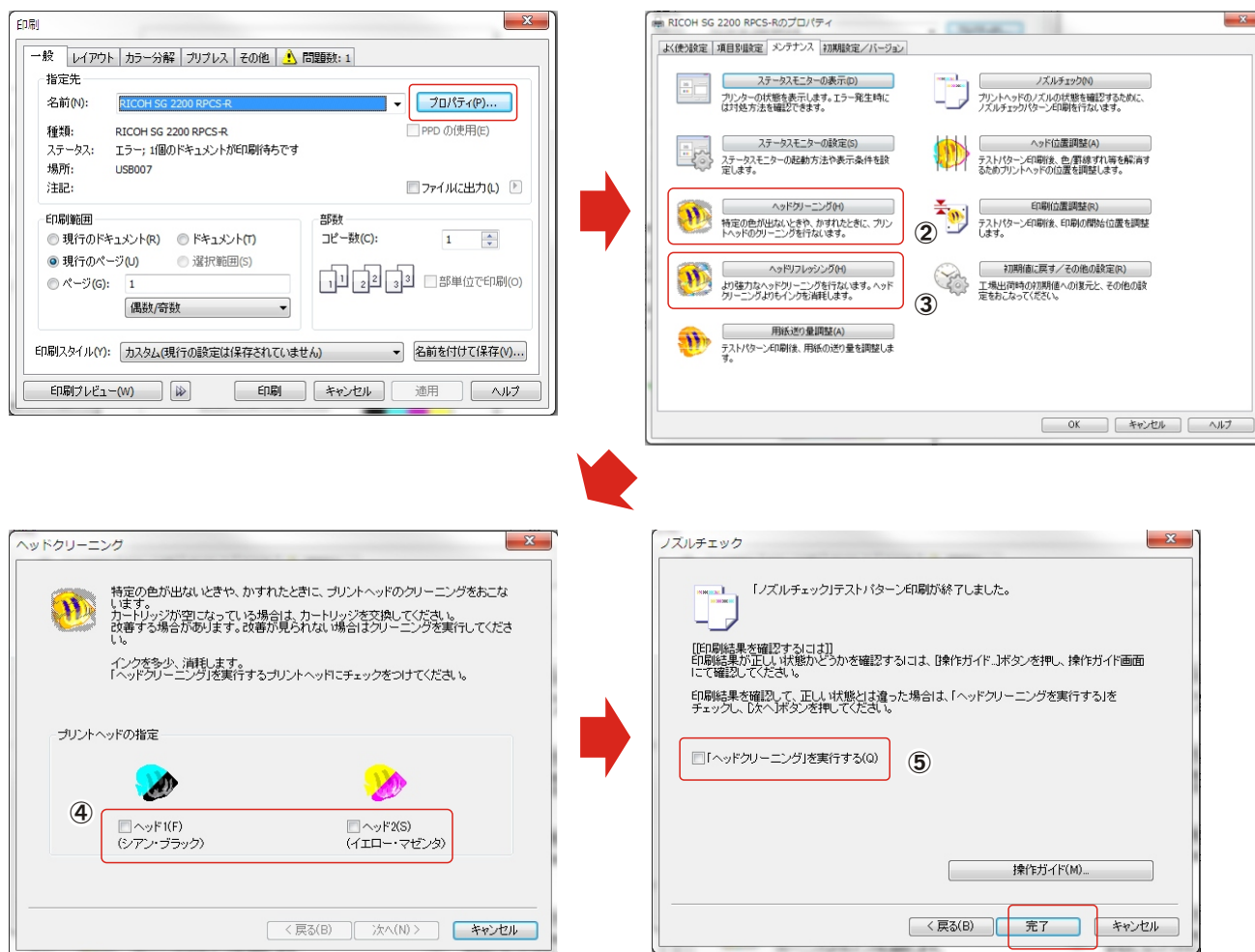
インターバルクリーニング（パターンプリント&クリーニング）の方法

1、まず、最初にプリンタードライバーのプロパティをクリックしてメンテナンスを開き①ノズルチェックを行います。



2、プリンタードライバーのプロパティをクリックしてメンテナンスを開き②ヘッドクリーニングまたは③リフレッシングを行います。④目詰まりしているヘッド（色）にチェックを入れて実行します。ヘッドクリーニングもしくはリフレッシングが終わったら、⑤にはチェックを入れずに完了してインターバルの為のパターンプリントを行います。

※状況により、もう1度ぐらいクリーニングしたい場合は⑤にチェックを入れて実行します。



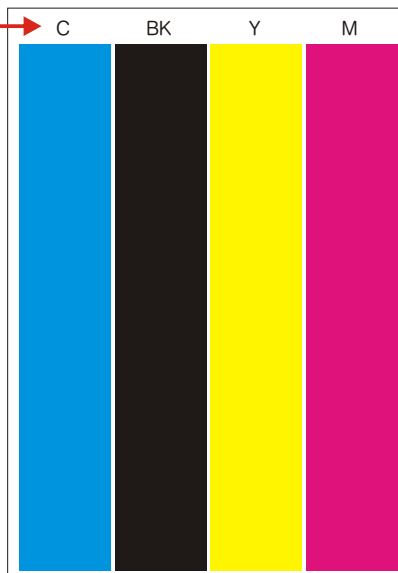
3、パターンプリントに当たり、まず図1のカラーパターン（A4用紙の大きさ）をドローソフト（コーレルやイラストレータ等）やエクセル等でCMYKのカラーパターン図を作成をします。

（※巻末のデータを利用頂いてもOKです）

パターンプリントカラー構成（CMYK）

C = C100% BK = K100% Y = Y100% M = M100%

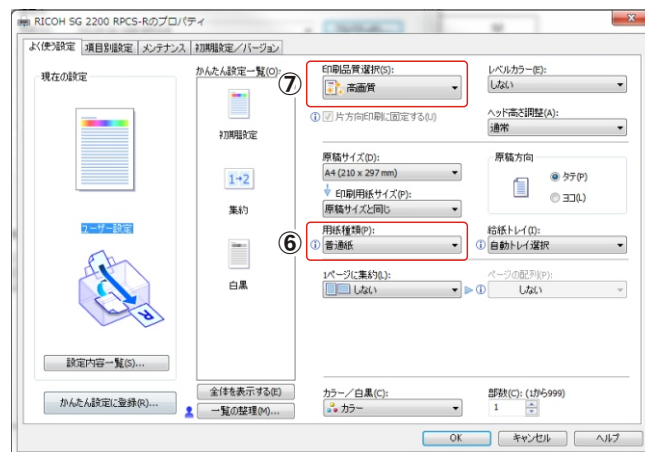
図1



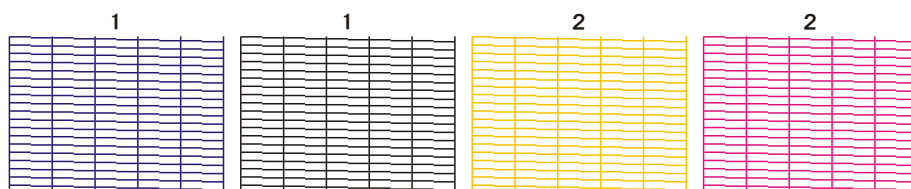
4、クリーニングが終わったら作製したカラーパターン図を⑥「普通紙」⑦「高画質」モードで、2枚～3枚程度プリントします。



※2～3枚プリント

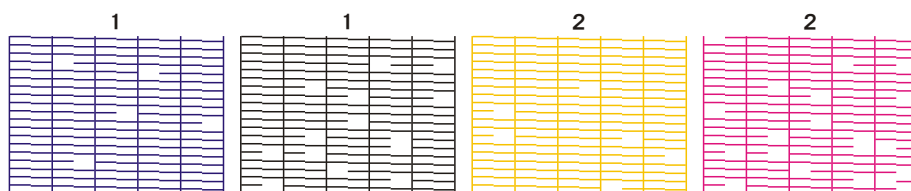


5、出力された目詰まりパターンを確認して目詰まりがあれば、程度によりクリーニングもしくはリフレッシュを行います。



OK → 終了

※クリーニングの必要はありません。

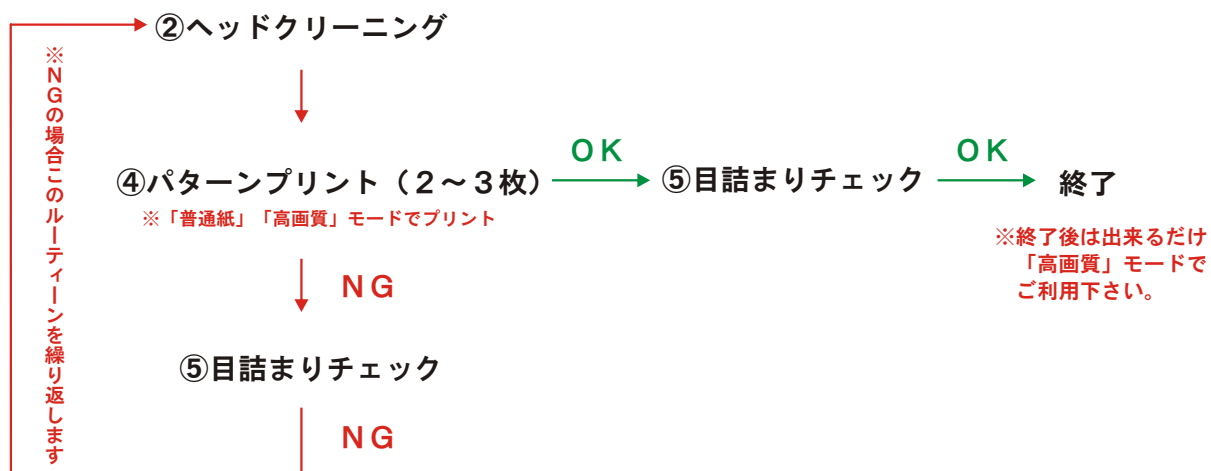


目詰まりの場合



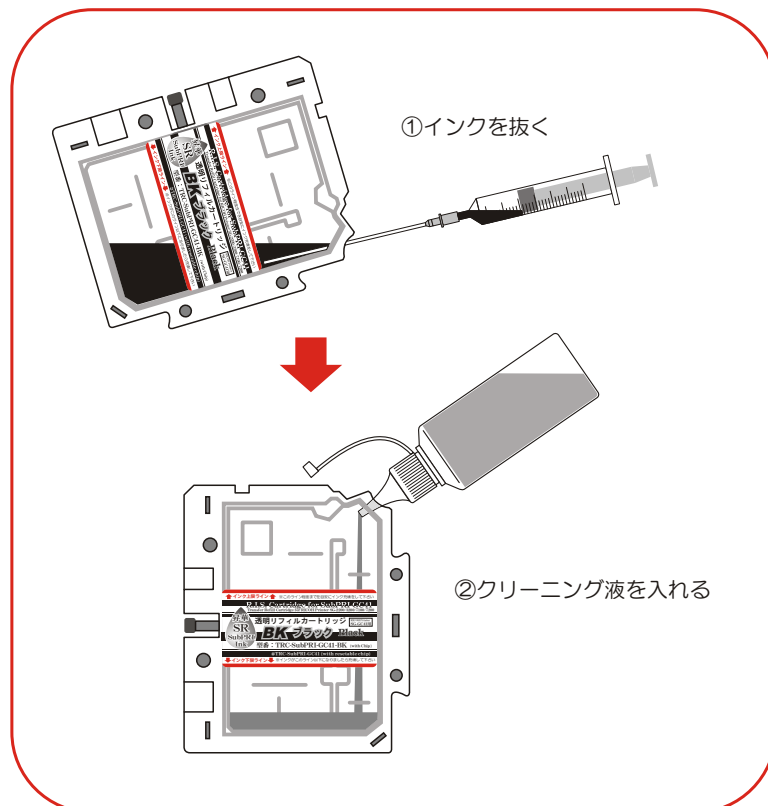
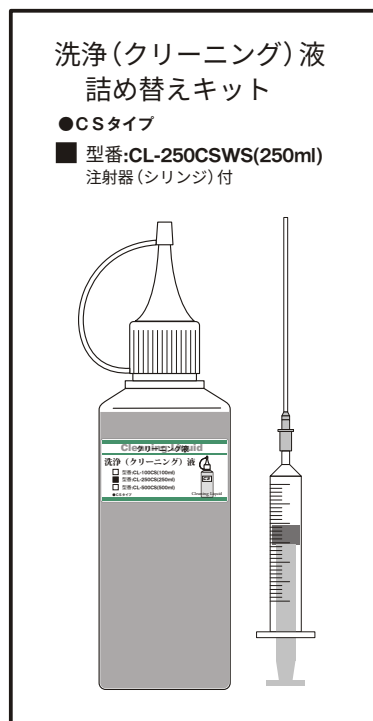
※②に戻り、解消出来るまで繰り返します。

インターバルクリーニングのフローチャート



※上記ルーティーンを5～6回繰り返しても解消出来ない場合は、暫く時間（半日～1日）を置いた後、再トライして下さい。

※また、下図のクリーニング液詰め替えキット（別途購入）を使い、インクからクリーニング液に詰め替え、インターバルクリーニング作業を行うと一層効果的になります。



それでも解消出来ない場合

メーカー（リコープリンタ）メンテナンスに修理依頼されるか販売店にお問合せ下さい。

